

氏名	高木健作
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第222号
学位授与の日付	昭和42年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	ウイルス性マウス白血病の免疫学的研究 第1報 重層法沈降反応による検討 第2報 Ouchterlony 法並びに免疫電気泳動法による検討
論文審査委員	教授 平木 潔 教授 小坂 淳夫 教授 矢部 芳郎

学位論文内容の要旨

癌と免疫，特にウイルス性腫瘍と免疫について，ウイルス性マウス白血病のウイルス性抗原の重層法沈降反応，免疫電気泳動法などによる研究は従来なされていない。著者はウイルス鈍化の方法として Fluorocarbon 処理した C₅₈ マウスの肝脾を使用し，重層法沈降反応を行なって，白血病マウス抗原には正常マウス抗原とは違った抗原性を認め，骨髓性白血病抗原とリンパ性白血病抗原には抗原性が相違するが両者の間に一部共通な抗原性を認めた（第1編）。この知見より抗原の特異性及び共通性についての検討を Ouchterlony 法及び免疫電気泳動法で行ない，両白血病抗原に共通で正常抗原にない抗原因子は電気泳動的に β -Globulin 域にあり，骨髓性白血病抗原には， β -Globulin 域に，リンパ性白血病抗原には α -Globulin 域に，特異な抗原因子が存在し，これらの抗原因子の性質は沈降線染色法でDNA，Lipoproteinは殆んどなく，糖蛋白及び Mucoprotein は僅かに存在する様な蛋白であることを認めた（第2編）。

昭和37年10月，第21回日本癌学会総会及び昭和38年10月，第22回日本癌学会総会において発表
岡山医学会雑誌，第76巻7,8,9合併号（昭和39年9月30日発行）掲載

論文審査の結果の要旨

本研究は癌と免疫，特にマウス白血病のウィルス性抗原について，従来検討されていない重層法沈降反応，免疫電気泳動法などを使用し，その特異性及び共通性を明らかにした事により，従来十分確立されていない腫瘍のウィルス説を証明するのに重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。